



はなのき通信

2024年6月 発行 第157号

編集・発行：あいち国際交流はなのき会

URL <http://www.aichinet.ne.jp/~hananoki/>

Eメール hananoki@aichinet.ne.jp



2024年度に向けて



2024年度会長 伊藤静香

新しい年度が始まりました。あいち国際交流はなのき会（以下、はなのき会）会員のみなさまには、日ごろから、活動へのご参加・ご協力を賜り、感謝いたします。2024年度の会長を担当する伊藤静香です。

私のはなのき会と出会ったのは、2009年の国立女性教育会館が実施したナイジェリアからの研修生受入れ事業がきっかけです。当時、NPO法人参画プラネットが名古屋市男女平等参画推進センター（つながれっと NAGOYA）の指定管理者事業を担当していたことから、名古屋の研修先として「女性とエンパワメント」をテーマに講師を依頼されたのです。研修終了後、ナイジェリアからの研修生と一緒に、はなのき会が催してくださった交流会に参加しました。

交流会では、はなのき会の先輩方が、それぞれの得意分野で最大のおもてなしをくださいました。英語でのスピーチ、歌や演奏、腕をふるった和食の数々、日本の伝統文化を体験していただくとお抹茶や着物の着付け体験なども。会場の熱気あふれるパワーに私は圧倒されました。ほんの軽い気持ちで参加したのですが、私はもう楽しくて、楽しくて。愛知県に、こんなにも元気で、活気あふれる女性団体が存在していることに、驚きとうれしさでいっぱいになりました。はなのき会の先輩方の活動力に少しでも近づきたくて、私はその日のうちに入会を決めました。

あれから15年。1979年に設立されたはなのき会は、今年で45年を迎えます。今では、県の派遣事業を経験していないチャレンジ班の方々が多く入会され、半数を占めています。組織や団体の寿命は30年程度と言われるそうですが、それ以上に長く継続しているのはなのき会です。継続は力なりとは言いますが、時間と共に継承することが難しくなっていることがあるのも事実です。そこで考えます。継続することが目的となっていないだろうか、と。

はなのき会の「めざす」ところは、何でしょうか。「めざす」ところがあるから継続してきたのであれば、その「めざす」ところとは？ 継続が目的にならないように、「めざす」ものを今一度、明らかにし、確認して進んでいけたらうれしいです。長く続けてきた活動だからこそ、先輩方の思いを大切にしながら、新しい知恵とチカラを活かして、この先へ！ 一緒に進みましょう。

2024年度 総会・講演会 報告

2024年度総会は、安城産業文化公園デンパークで行い、総会後は自由に食事と散策などで過ごしていただきました。

会員41名の参加、来賓4名をお迎えした総会での審議はスムーズに進行し、規約内容も賛成を経て現状を踏まえた変更になりました。また3年ぶりのスタディーツアーのシンガポール紹介もありました。

2024年度のテーマは「多文化共生～多様性のある社会を「自分ゴト」として考えよう」2024年度は国内スタディーツアー、2025年度は海外スタディーツアーの予定と2年間の計画になります。

総会後の講演は、講師の加藤純子氏による「ヨーロッパのチーズ事情」で、フランスの3種類のチーズの試食をしながらの講演会でした。フランスでは1つの村に1つのチーズと言われる程、風土に合わせたチーズの種類があります。歴史を感じながらまた、食べたことのない味わいと風味のチーズには、ワインがあいそうでした。とても高いフランスチーズは、昨年末から手配など準備して当日に臨んでくださいました。



担当 西三河ブロック 小鹿登美

セミナー 報告

セミナーⅠ 「国際交流音楽祭2024in 尾張大野」 (知多ブロック担当)

5月4日 セミナー1「国際交流音楽祭 in 尾張大野 (知多ブロック担当)」が開催されました。「国際交流音楽祭実行委員会」が毎年各地で開催している催しで、今回、常滑市大野町で開催されることから、あいち国際交流はなのき会も協賛しました。

当日は晴天に恵まれ、はなのきの会員をはじめ、多くの方々が参加されました。

韓国からは日本で初めて演奏するというハーモニカ演奏者がすばらしい演奏を、その他モンゴルやインドネシア、インド舞踊など国際色豊かな舞台が繰り広げられました。(伊藤静香)



ブロック・部会の活動報告

学習会「Let's 協力！」 (東三河ブロック)

5/26 (日) 於：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT・研修室

参加者 17 名

日本障害者リハビリテーション協会が開発した研修プログラムを体験した。目的：「困難な時代を乗り越えていくための支援者向け

カードゲーム」とある。早速 4 名 1 グループを作り、簡単な自己紹介の後実践に移る。「15 例のニーズカード (具体的な事例)」に対し、各人が持つ 5 種類の「支援カード (対策)」を並べていく。カードゲームの手法を学びながら話し合う。後半の振り返りでは、各グループの感想・気づき・地域での問題点等を発表した。「カードに予め例示されているので考えやすい」「高齢者や青少年の事例は多いが中年の事例が少ない」「隣り近所や地域のつながりが希薄になった」等々であった。(青山丈子)



環境問題研究会

環境問題研究会メンバーは、6 月 1 日 (土) 電気文化会館で開催された、講師神津カンナ氏の講演会「暮らしの変化とエネルギー」に参加しました。



当たり前のように無駄遣いしてきた電気・ガス・ガソリン等の燃料ですが、世界各地の紛争を契機に事情は変わり、エネルギー供給の逼迫と価格高騰が続いています。

この現状に危機感を感じた神津氏は、1970 年代のオイルショックから 2020 年代の東北大震災までの統計をもとに、エネルギー供給構成の変化を示し、今後は、単に経済面に留まらず、地球温暖化等深刻な環境変化による生命への影響を無視することができないと警鐘を鳴らされました。(油田淑子)

スタテイツアー参加者募集！

スタテイツアー2024 東日本大震災の今～岩手・三陸を訪ねて
2024 年 10 月 11 日 (金)～13 日 (祝) 現地集合、現地解散

募集人数 26 名 申込締切 7 月 31 日 (定員になり次第締め切り)

旅行代金 78,800 円 バス利用、案内役同行

1 日目 岩手県国際交流協会 訪問 (メトロポリタン盛岡ホテル泊)

2 日目 三陸鉄道貸し切り列車、大槌市・釜石市 視察&避難体験プログラム等 (大船渡温泉泊)

3 日目 陸前高田市いわて TSUNAMI メモリアル他、

★申込先や内容など、詳細はチラシをご覧ください



愛知県女性地域実践活動交流協議会 総会に出席

協議会は、はなの
き会の他、5団体
で結成

総会後の講演会には44名が参加し、実演もあり有意義な時間を過ごしました。

講演会「事例から学ぶ、私たちが今できること

～男女共同参画の視点から見た、過去の被災での学び～

講師：椿佳代氏(エンジェルランプ代表 他)

講師の椿佳代氏は、能登地震では1月3日から12日間穴水町の支援に入った体験を通して、女性の視点で避難所や在宅避難の環境整備をして関連死をなくすことが大切と話されました。そのためのトイレ講習を学び、私も支援の側にたてるよう「自宅は大丈夫!」としたいと思いました。

(名古屋ブロック 松原美恵子)

☆ 会員活躍紹介 ☆☆☆

西三河ブロックの白谷隆子氏が、安城市議会副議長になりました。任期は1年ですが、安城市で正副議長のいずれかを女性が務めるのは初めてです。これから益々のご活躍も楽しみにしています。



今後の活動

★セミナーⅡ (尾張ブロック担当)

【ベアテ・シロタ・ゴードン展】

7月9日(火)から7月31日(水) 会場: ウイルあいち情報ライブラリー

【講演会】『男女共同参画社会の実現に向けて』

7月14日(日)午後2時から 会場: ウイルあいちセミナールーム1・2

講師: 加藤尚巳氏(男女共同参画推進課女性の活躍促進監)

★セミナーⅢ (名古屋ブロック担当)

日時 11月30日(土)午後2時から4時 場所 JICA なごや地球ひろば

講師 東(あずま)恵理子氏

内容 活躍する隊員OB/OG 地域創生メンバーとして岐阜県瑞浪市でカマドブリュワリー経営

★日本本伝統文化研究会の活動

①万華鏡作成: 9月21日(土)国際プラザ1Fにて 午後1時~4時 10名程度

②浄瑠璃鑑賞【竜潭譚(りゅうたんたん)】

11月9日(土)人形劇場ひまわりホールにて 午後2時から※浄瑠璃×球体関節人形×泉鏡花

編集後記

2024年度の前半は多くの活動があり、にぎやかな通信になりました。ご協力に感謝します。(書記一同)